

令和七年度
芦屋町歴史民俗資料館 特別展

金屋遺跡展

ちいさな欠片^{かけら}の物語

室町時代に芦屋で名品

「芦屋釜」を生み出していた

芦屋鋳物師。その工房の跡から

出土した資料が物語る、

筑前国芦屋津金屋の様子を

探ります。



令和 7 年

10/15(水)
~ 12/7(日)

学芸員による
ギャラリートーク

11/2(日)
10:00~

要予約
定員 15 名

申込期間：
10/26(日) ~ 11/1(土)
申込先：芦屋町歴史民俗資料館

芦屋歴史の里 (芦屋町歴史民俗資料館)

〒807-0141

福岡県遠賀郡芦屋町大字山鹿 1200

Tel: 093-222-2555 Fax: 093-222-2957

開館時間 9:30 ~ 17:00 (入館は16:30まで)

※月曜休館、月曜祝日の場合翌平日休館

個人：18 歳以上 200 円・小・中・高校生 100 円

※町内在住の小中学生は土曜日無料

団体：18 歳以上 100 円・小・中・高校生 50 円

※団体割引は 20 名以上

芦屋歴史の里・芦屋釜の里共通券

18 歳以上 400 円・小・中・高校生 150 円

令和七年度
芦屋町歴史民俗資料館 特別展

金屋遺跡展

ちいさな欠片^{かけら}の物語

茶の湯釜の名器、芦屋釜は、南北朝時代頃（14世紀半ば頃）から筑前国芦屋津金屋で造られました。その場所は、現在の芦屋町中ノ浜付近のことです。ここで発見された遺跡が中世の芦屋鋳物師の工房跡を中心とする「金屋遺跡」です。

本特別展では、金屋遺跡から出土した資料を中心に展示します。また、令和7年2月に芦屋町指定有形文化財に新規指定された2件の資料についても詳しく紹介します。



▲筑前芦屋釜鋳造想像図 丹生忍冬斎 現代



▲合戦ヶ原出土素文平釜（芦屋町指定有形文化財）室町時代



▲芦屋釜鋳型（金屋遺跡出土品 芦屋町指定有形文化財）室町時代

学芸員による ギャラリートーク 11/2^(日) 10:00~

申込期間▶10/26^(日)～11/1^(土)

申込先▶芦屋歴史の里（芦屋町歴史民俗資料館）

TEL：093-222-2555

要予約
定員 15名

午前9時30分～午後5時

※月曜休館



◀金屋遺跡発掘の様子 平成6年



▲こしき炉基底部（金屋遺跡出土品 芦屋町指定有形文化財）室町時代

同時開催 令和7年度 芦屋釜の里開館30周年記念 特別展

芦屋釜の美と 10.15^(水) 鋳物師の技 -12.7^(日)

室町時代に芦屋鋳物師が製作した茶の湯釜や鰐口等を展示。
重要文化財三点を中心に名品を紹介します。



〒807-0141 福岡県遠賀郡芦屋町大字山鹿1558-3
Tel: 093-223-5881

開館時間: 9:30 ~ 17:00 (入館は16:30まで)

休館日: 毎週月曜 祝日にあたる場合は翌平日

入館料: 18歳以上 300円 (200円)

高校生・中学生・小学生 100円 (50円)

※20名以上の団体は()内の割引料金